

# 書の甲子園へ

## 第24回国際高校生選抜書展

2年連続団体北海道地区優秀賞受賞！個人賞でも初めて優秀賞を受賞しました。過去に総文祭長崎大会に推薦された橋本汐里が秀作賞を受賞しましたが、優秀賞は清田書道部個人過去最高賞です。

「書の甲子園」は、日本国内16572点、海外260点の出品で、今回は、文部科学大臣賞2点、大賞10点、準大賞20点、優秀賞40点、秀作賞128点、入選1800点が選ばれました。入選するだけでも大変な公募展なのですが、今年は優秀賞受賞者が出て感激です。

以下8点の作品は大阪市立美術館で展示されました。

団体 北海道地区優秀賞

個人 優秀賞 2年6組 高倉 花奈

入選 3年 貞廣 千夏、大町 梨子、竹中 礼菜、西岡 菜摘、菅沼乃の葉  
2年 田崎 桃子 / 1年 渡辺 楓花 (書道選択者)

平成28年2月7日、念願の「書の甲子園」へ。優秀賞受賞の高倉花奈が大阪で行われた式典に参加してきました。

6日に大阪に入り、そのまま大阪市立美術館で作品鑑賞。全国の入選作品は地区ごとに展示されていましたが、受賞作品は賞ごとの展示でした。7日の式典では、まず昨年の優勝カップの返還が行われ、その後団体賞、秀作賞以上の個人賞の表彰が行われました。今まで経験した表彰式とは格式と雰囲気の違いがありました。特に全国優勝のカップ返還の時にはなかなか緊張感を味わいました。表彰式の後、個人最高賞の3人による揮毫会が行われました。揮毫会では、北海道から文部科学大臣賞旭川西、外務大臣賞市立大通（メキシコ人）の2人が揮毫しました。北海道強いです。最後に祝賀交流会で、ドーナツパーティが行われ、アトラクションとして、全国優勝の旭川西高校による書道パフォーマンスが披露されました。旭川西のパフォーマンスは、ピア

ノのや優しいをんだ、目にフォスで相当誤を繰り返し練られたことが想像され、役員の先生方からも歓声があがりました。



生演奏雅な舞織り込初めてするパーマンした。試行錯

